

空飛ぶクルマ

離着陸場ガイドブック

ADVANCED
AIR MOBILITY
VERTIPORT
GUIDEBOOK

Strictly Confidential

空飛ぶクルマ離着陸場ガイドブックみんな

移動革命

ADVANCED AIR MOBILITY VERTIPORT GUIDEBOOK

空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査業務

～離着陸場整備に関するガイドブックの検討状況～



ガイドブック

令和5年 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査業務
(委託先: 兼松・Skyports・ANA 総合研究所・日建設計 共同企業体)

大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課

Future Image: Designed by NIKKEN Future Labo.

代表構成員

兼松株式会社

構成員

Skyports株式会社

株式会社ANA総合研究所

株式会社日建設計

本日のご説明内容

1. 本事業の目的
2. 本事業に対するアプローチ
3. ヒアリングの実施状況
4. ガイドブックの構成
5. 今後のスケジュール

本日のご説明内容

- 1. 本事業の目的**
2. 本事業に対するアプローチ
3. ヒアリングの実施状況
4. ガイドブックの構成
5. 今後のスケジュール

1. 本事業の目的

目的(1)

離着陸場の整備を検討する企業の参入意欲の向上

目的(2)

離着陸場整備に向けた事業者の具体的な取組を加速



目的(1) を通じて 目的(2) を達成する

本日のご説明内容

1. 本事業の目的
- 2. 本事業に対するアプローチ**
3. ヒアリングの実施状況
4. ガイドブックの構成
5. 今後のスケジュール

2. 本事業のアプローチ

アプローチ

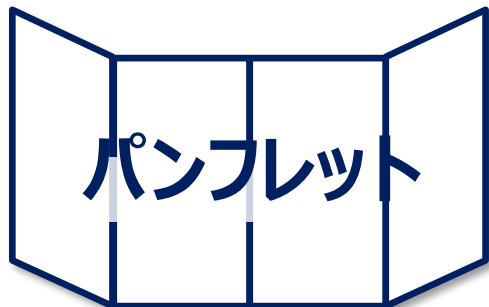
空飛ぶクルマや
離着陸場に興
味・関心を喚起

離着陸場整備に係る知識や
検討プロセス等を紹介

具体的な
事業検討を
加速



手段

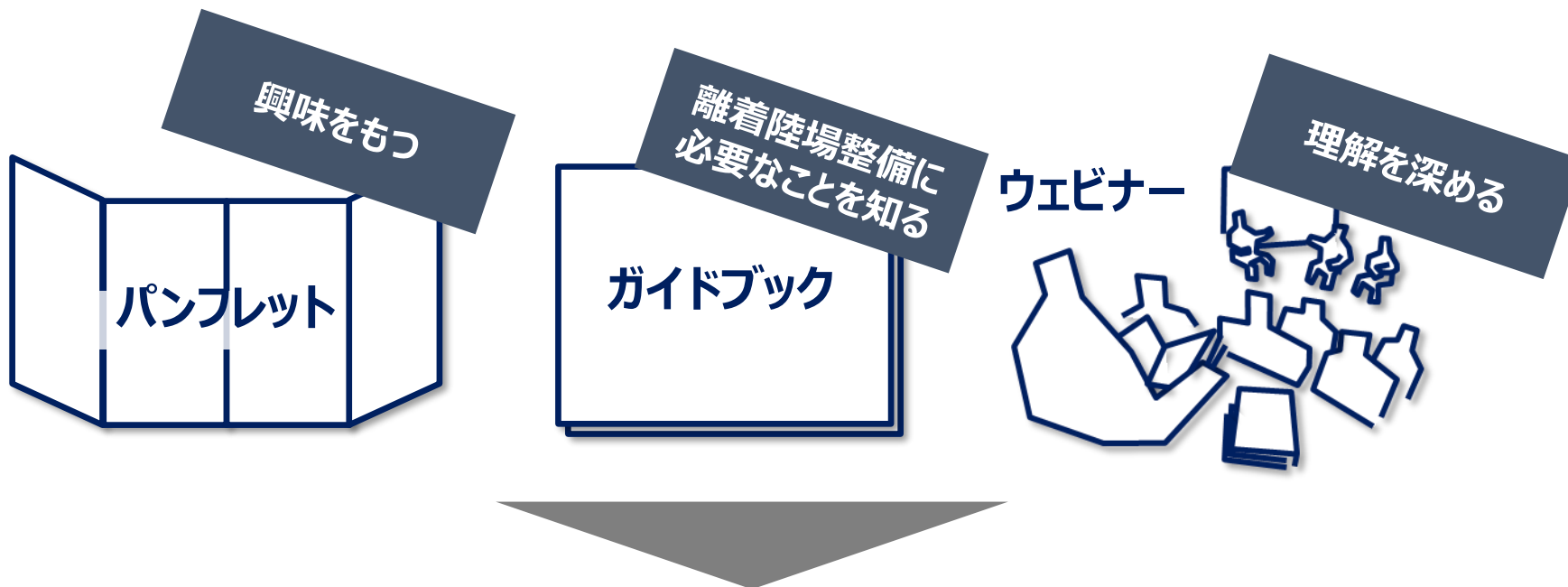


ウェビナー



2. 本事業のアプローチ

手段



具体の
取組み

(1) ヒアリングの実施

大阪府内の事業者さまを中心に空飛ぶクルマに関連する産業や離着陸場整備を検討するうえでの課題・不安・期待感を把握し、ガイドブックに盛り込むべき観点を確認

(2) 航空局との調整

バーティポート整備指針の解釈が難しい部分は、航空局に確認したうえでガイドブックに反映

本日のご説明内容

1. 本事業の目的
2. 本事業に対するアプローチ
- 3. ヒアリングの実施状況**
4. ガイドブックの構成
5. 今後のスケジュール

3. ヒアリングの実施状況

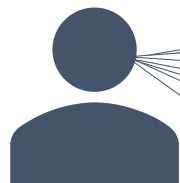
離着陸場の整備・運営と関わりが想定される事業領域の
事業者さまにヒアリングを実施

ヒアリング質問項目（概要）

1. 空クルへの期待、ユースケース
2. 空クルの社内検討状況、想定する事業領域
3. 空クルを検討するうえでの課題、不安、悩み
4. ガイドブックへの期待・意見

3. ヒアリングの実施状況

検討状況や背景は異なれど、共通する声があることが判明



- 万博の後は空飛ぶクルマはどうなるの？
- 国や大阪府ロードマップはあるけど蓋然性は？
- 社会受容性はいつ広がっていくのか？

- 離着陸場開発には興味あるが、将来的にどう発展するのが見えず、事業性
の見通しが立て難い。
- 事業採算性が一番の懸念要素。いきなり黒字化するとは思っていないが、何
年後に投資が回収できて、収益を上げられるのか。

- 結局、ヘリコプターとの差はなに？
- 役所手続きはヘリポート設置よりも緩和される？
- バーティポート整備基準時には緩和されていないと・・・

- ポート事業者の責任範囲がわからない
- ポート事業の「運営」は何をしないとイケないのか？

時間軸

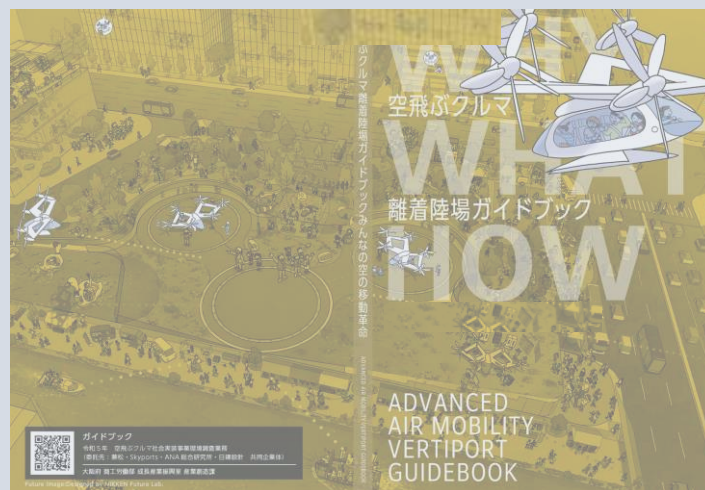
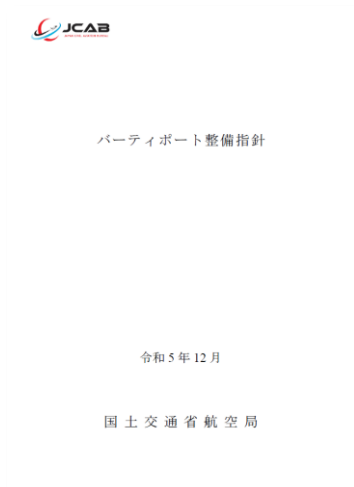
事業性

ヘリとの差異

ポート運営

3. ヒアリングの実施状況

各事業者さまの声を踏まえて、
指針の内容解説のみならず、背景や周辺情報も考慮した説明



時間軸

事業性

ヘリとの差異

...

反映を
目指す

本日のご説明内容

1. 本事業の目的
2. 本事業に対するアプローチ
3. ヒアリングの実施状況
- 4. ガイドブックの構成**
5. 今後のスケジュール

4. ガイドブックの構成

バーティポート整備指針 目次

第1章 総則

目的・適用・定義・施設構成

第2章 バーティポートの施設

各施設の形状・勾配・強度等、各標識・灯火の設置場所等

第3章 バーティポートの制限表面

進入方面、転移表面、等

第4章 その他

ダウンウォッシュ影響評価、脱落防止施設、消火救難体制、バーティポートの立地条件



ガイドブック

1章 概要

- 1-1 空飛ぶクルマってどんなもの？
- 1-2 どんな良があるの？
- 1-3 本当に世の中が広がっていくの？
- 1-4 離着陸場ってどんなもの？

2章 検討プロセス

- 2-1 離着陸場設置までどんなフロー？
- 2-2 フローの
- 2-3 どんな関係者がいるの？
- 2-4 環境アセスメントが必要？

3章 法体系 関連法令・指針等

- 3-1 法整備はどうなっているの？
- 3-2 いつからできるの？
- 3-3 ほかにどんなルールがあるの？
- 3-4 保有しているビルには離着陸できるの？

4章 適地選定

- 4-1 適地選定はどう進めるの？
- 4-2 制限表
- 4-3 進入表面とは
- 4-4 制限表面を将来まで担保できる？

5章 施設計画

- 5-1 バーティポートにはどんな種類があるの？
- 5-2 バーティポートの構成要素はどんなもの？
- 5-3 図解バーティポート整備指針
- 5-4 どんなパラメーターが必要があるの？
- 5-5 地上型と高架型の差はどんなもの？
- 5-4 その他バーティポートに必要な設備は？

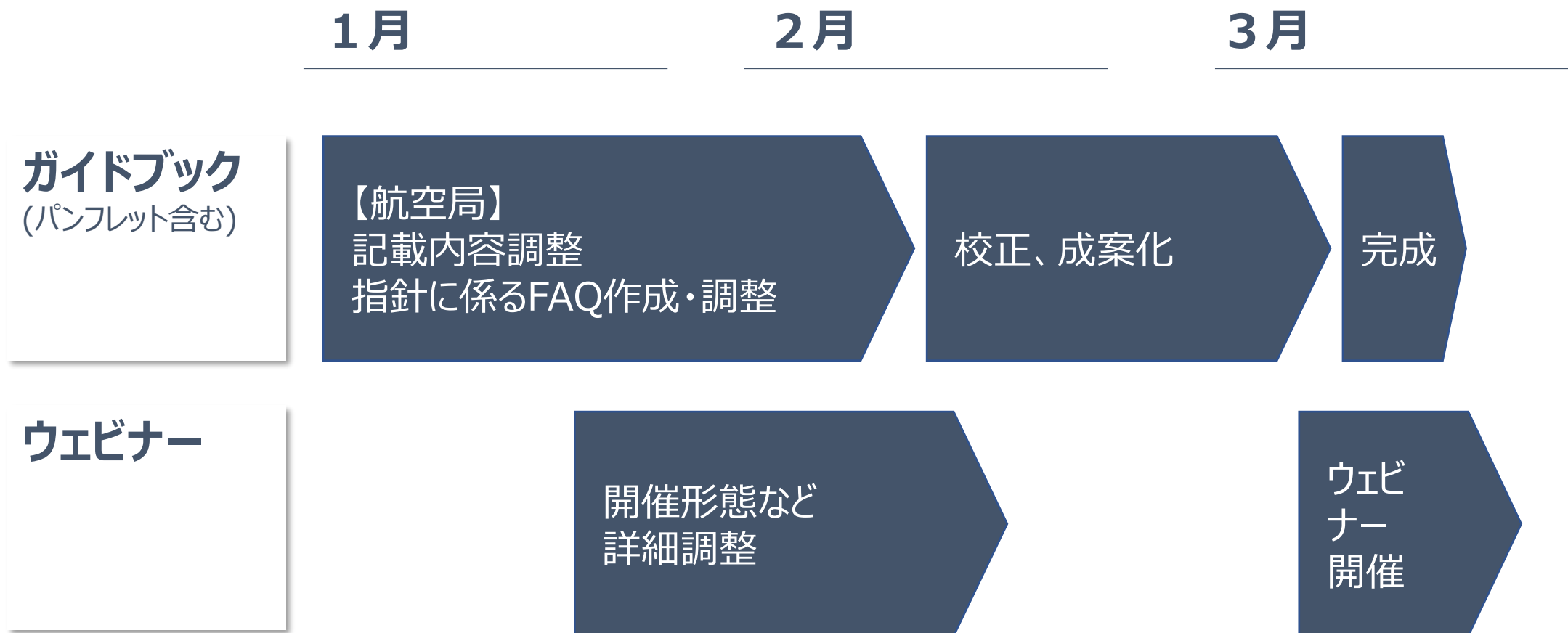
6章 今後に向けて



本日のご説明内容

1. 本事業の目的
2. 本事業に対するアプローチ
3. ヒアリングの実施状況
4. ガイドブックの構成
- 5. 今後のスケジュール**

5. 今後のスケジュール



- ラウンドテーブルに参画する事業者さまからも、ガイドブックに期待することや、バーティポート整備指針に関する疑問点等、ご意見を頂きたいと考えています。
- 本日のラウンドテーブル終了後、大阪府より、メールにてコメントシートを送付しますので、ご協力をお願いします。
- 回答いただいた内容については、大阪府と調整のうえ、可能な限りガイドブックへ反映させるほか、FAQのような形式で付録としてまとめる予定です。

空飛ぶクルマ

離着陸場ガイドブック

ご清聴ありがとうございました

空飛ぶクルマ離着陸場ガイドブック みんなの移動革命

ADVANCED AIR MOBILITY VERTIPORT GUIDEBOOK

ADVANCED
AIR MOBILITY
VERTIPORT
GUIDEBOOK

Strictly Confidential



ガイドブック

令和5年 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査業務
(委託先: 兼松・Skyports・ANA 総合研究所・日建設計 共同企業体)

大阪府 商工労働部 成長産業振興室 産業創造課

Future Image: Designed by NIKKEN Future Lab.

代表構成員

兼松株式会社

構成員

Skyports株式会社

株式会社ANA総合研究所

株式会社日建設計